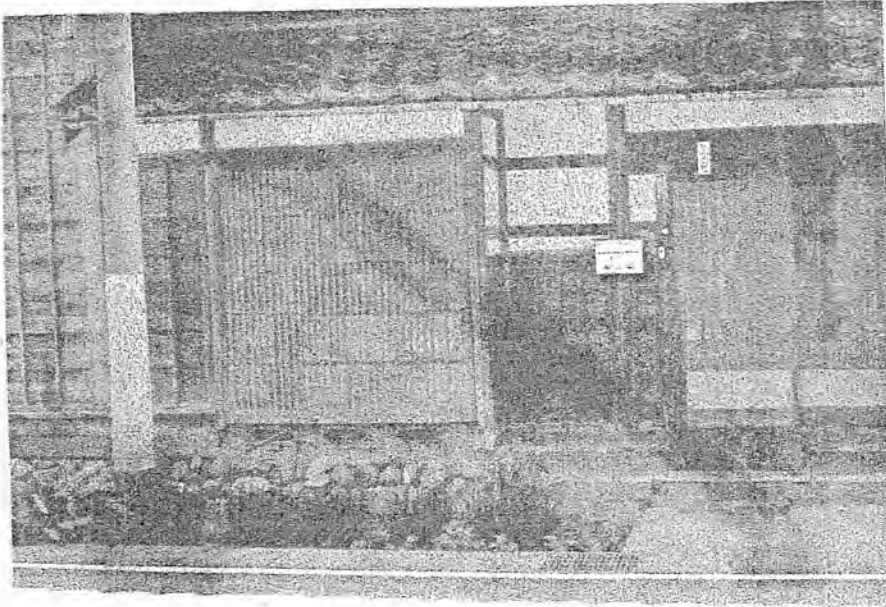


吉田さん家は、幕末頃の史料によれば、福嶋一番の土地持ちのいえであったし、在所中で、最も尊敬される家柄であったらしい。

明治三十年頃、鉄道を早く敷設する事が、軍事的にも重要な事項であった。

手取川に鉄橋を作るための技師たちの宿舎が往時の吉田さんの家であった。また湊から、吉田さんの所まで、西川が遡行できた時代であった。



吉田さんの家の土蔵が、手取川の鉄橋のレンガを使用したものだという事は、子供の頃に聞いた、話である。

山本さんは、重厚な明治建築の面影を今に残している。

下級生であったし、町会議員を務めた先代は、優しい男であったが、若死にしたのが惜しい。

